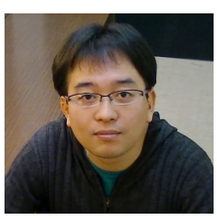
Mゲキセレクション

河合穂高 × 下鴨車窓「黄色の森」関連企画

SF演劇を演じてみる
～河合穂高の劇世界体験講座～

この講座は、参加者の皆さんに劇作家・河合穂高の戯曲のワンシーンを
演じることで不思議な SF テイストの劇世界を体験していただくものです。
河合は口腔がんの研究者でもあり、
生物学や医学など研究で得られる最先端の情報を取り入れながら
現代の科学が人間とどう共存できるかを問う作品を執筆し、
高い評価を得ています。
河合がどのようなことを考えて執筆しているのかという話も交えつつ、
グループに分かれて戯曲のワンシーンを作っていきます。
演じるに当たってガイド (演出) をするのは下鴨車窓の田辺剛です。
このたび上演される『黄色の森』でも舞台の演出を務めます。
ユニークな演劇の世界をご体験ください。

河合穂高


田辺 剛

［日程・会場］

2025年
9.7（日）14:00-16:00

三重県文化会館 レセプションルーム
（三重県津市一身田上津部田 1234）

［対象 ］演じることに興味がある方。経験不問。

［参加費］**1,000 円**＊当日受付でお支払いください。

［定員］ **15 名**（先着順）

［申込方法］ 以下の必要事項を明記の上、お申込みください。
①お名前　②ご年齢　③連絡先 (TEL&E-mail)
④所属団体／学校名 (あれば)

【WEB】 三重県文化会館 WEB サイト　申込フォーム
https://www.center-mie.or.jp/bunka/
【窓口】 三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

［お問合せ］三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122
（10:00～17:00 ／月曜休館、月曜祝日の場合は翌平日）

［講師プロフィール］

河合穂高 かわい ほだか

劇作家。神戸市出身。岡山大学学術研究院医歯薬学域 口腔病理学分野 研究准教授、歯学博士。田辺剛が主催する戯曲講座の修了生でもある。『春の遺伝子』(2020 年)、『人魚の器官／漂う海馬』(2023 年) で日本劇作家協会新人戯曲賞最終候補ノミネート。2022 年、『黄色の森』で第 8 回せんだい短編戯曲賞 大賞。2023 年、岡山芸術文化賞 準グランプリ。

田辺 剛 たなべ つよし

劇作家・演出家。劇団「下鴨車窓」代表。2005 年『その赤い点は血だ』で第 11 回劇作家協会新人戯曲賞、2007 年『旅行者』で第 14 回 OMS 戯曲賞佳作を受賞。2006 年文化庁新進芸術家海外留学制度にて韓国に一年間滞在。演劇作品『きみがしらないひみつの三人』が令和元年度児童福祉文化財の特別推薦作品に選出。戯曲を執筆する講座の講師をオンラインや各地の劇場で務め戯曲賞を受賞する作品を続けて輩出するなど定評がある。

【公演情報】
Mゲキセレクション 河合穂高×下鴨車窓「黄色の森」
＜道に迷った三人が一夜を山で過ごす物語＞第8回(2022年)せんだい短編戯曲賞大賞受賞作品、初の舞台化。

[日時・会場] 2025年10月18日(土)13:00開演／18:00開演、10月19日(日)13:00開演　三重県文化会館　小ホール
[作] 河合穂高　[演出] 田辺剛(下鴨車窓)　[出演] 坂井初音、福井菜月(下鴨車窓)、高瀬川すてら(劇団ZTON)
整理番号付自由席　一般3,000円(当日3,500円)、ユース(22歳以下)2,000円(当日2,500円)　*8月9日(土)チケット発売

主催：三重県文化会館 [指定管理者：公益財団法人三重県文化振興事業団] 、下鴨車窓